

第1回 小坂・小野地区小学校統合準備委員会 次第【議事録】

日 時: 2024年7月31日(水) 19:00～20:00

場 所: 小坂小学校 こぶしルーム

1 開 会

2 あいさつ (嶋教育長)

3 委員紹介 (自己紹介)

小坂・小野地区小学校統合準備委員会設置要領 資料1

小坂・小野地区小学校統合準備委員会 委員名簿 資料2

4 正副委員長選出

委 員 長 [水嶋 弘三]

副委員長 [山内 規誉]

※委員長を小坂地区、副委員長を小野地区から選出してもらうよう事務局から提案し、各地区協議のうえ決定された。

5 説明・協議事項等

(1) これまでの経過等について (説明)

(2) 統合までのスケジュールについて (説明)

(3) 統合準備委員会で予定している協議内容について (説明)

資料に基づき
事務局から説明

【質疑】

・福住小と寺坂小の統合準備委員会の委員長や代表者の方と、意見交換をするような場を設けてもらえないか。

→先方に打診して、委員会の場にお越しいただくか、または何名かの委員と先方にお邪魔して意見交換をするか、方法も含めて検討させていただく。

・小野小学校は今年度2年生と3年生が複式学級の基準に該当しているが、現状はどうなっているのか。来年度は。

→現状は、専門教科の先生を担任とすることで、複式学級を解消している。来年度も同様の予定。

- ・小坂小学校には校友会という同窓会組織があるが、その他、スポ少（野球、バレー）などの調整はどうなるのか。

→本日配布した資料に、協議が必要な項目として校友会や防犯協会、スポーツクラブなどを例として記載している。今後、それぞれの事務局をどこが持たれているのか等を確認しながら、関係者と協議を進めていく予定。記載している項目以外で、統合にあたり調整が必要なものがあれば、気付かれた時点で知らせて欲しい。

(4) 学校名・校歌・校章・校旗等について（協議・確認）

※小野地区から提出された合意書に「学校名、校歌、校章については両校関係者の意見を聞き、協議の上決定するようにしていただきたい」との要望があったことから、無条件に小坂小学校にあわせるのではなく、委員会での協議により学校名等を決定したい旨を事務局から説明。小野地区から、合意書で要望された意図や地域の想いについて説明を受けた。

【意見交換】

- ・小野地区では、コミュニティ、区長会、PTAが中心となって統合に関する協議を進めてきた。PTAのアンケートでは約73%が統合に賛成、地区のアンケートでも68%が賛成だった。この結果は、子ども達の事を考えて、やむを得ず賛成という意見も含まれており、裏を返せばPTAでも27%、地区でも32%が反対又は分からないという意見。将来的に1校になるのであればその時点まで待ってもいいのでは、という意見もあった。

統合して新しくスタートするのであれば、新しい学校名がいいという地区民の願いも少なからずあったことから、要望事項に入れている。ただ、協議にかかる期間や費用負担のこともあり、子ども達のことを考えると、すんなりと決まって新しい学校生活をスタートさせてやりたいという思いがあるので、そこは大きくこだわるところではない。

- ・幼稚園が統合して認定こども園になったときには、新しい園名（おさかおのこども園）となった経緯があったことから、地区説明会の場で過去の小学校の統合でどのような事例があったか質問した。学校名が変更になった例（港小学校）もあったようだが、ほとんどは寺坂小学校と福住小学校のように統合先の小学校名を引き続き使用しているとの事だった。

小野地区としては、新しい学校名、新しい校歌が第1希望ではあるが、協議に要する期間であったり、経費の問題、校歌の作詞作曲を誰がするのかというような多くの課題があることから、仕方がないといっては怒られるかもしれないが、小坂小学校の名前、校歌、校章をそのまま残すことになるだろうと思っている。

→4月に統合した福住小学校と寺坂小学校の統合準備委員会でも同様に、学校名は委員会の場で協議して欲しいという寺坂地区からの要望を受けて、学校名について協議をした。学校名を変更する場合の協議スケジュールや、校章、

校歌を新しくすることで必要な費用負担のこともあり、学校名は福住小学校として、寺坂小学校の歴史とか伝統を引き継ぐようなシンボルとなるようなものを福住小学校に展示保管することで了承された。

→港小学校の場合は、コミュニティは1つのところに、円山川で分断されて2つの小学校があった。校歌は同じメロディで歌詞が異なるだけだったことから、2つをあわせる形としている。学校名も、港東・港西両地区から提案があり、港小学校とした。校章は新しくし、校旗と緞帳は地区からの寄付で新調した。費用はそれぞれ70万円程度と聞いている。

市教育委員会に決定権があるのは、学校名と学校の位置。校歌や校章については学校が決定するものであるもので、地域と学校で検討していただくことになる。校旗や緞帳などは、地域や企業からの寄付という形が多い。

・今後、出石地域で小学校を1校とすることについて、具体的なスケジュールは。協議が5年後から始まるのか、もっと先の10年後なのかによって意味合いが変わってくる。ある程度、各委員が共通の認識を持っていないと議論は難しい。

→計画策定段階では、2027年ぐらいから検討を始めるイメージだったが、ここ数年、コロナの影響もあり、子どもの数が大きく減少している。今年の出生数を見ると、出石全体で1学年1クラスになってしまう見込み。現時点でこの年度からという判断は出来ないが、あと2年間程度の出生数を見ながら必要な時期を決めたい。感覚的には計画よりも早まると考えているが、学校の位置をどうするかというところから、全ての地区からある程度の同意を得る必要があるため、地区説明会を開催して統合（出石で1校）の必要性について理解してもらうところからスタートする必要があると考えている。

・学校名は、本日決定してしまうのか。

→各委員の立場で、意見交換をお願いしたい。この場で決めるのは難しいという事があるかもしれないが、デリケートな問題でもあるため、まずは意見交換をしながら、方向性が出ればと思う。

・これまでの統合協議のような「部会」は設置しないのか。全体会ではお互い顔色を見ながら話をしているようで、特に小坂側からは正直意見が言いにくい。個別具体的な項目は部会で協議し、全体会で確認する方が良いのでは。

→これまでは委員を2つに分けて総務部会と通学部会を設置していたが、今回は委員による部会を設置せず、協議する内容に応じて関係する方に集ってもらい、協議結果を全体会で報告、確認してもらう方法を考えている。

例えば、総務部会で閉校式や閉校記念行事について協議することで集まっても、関係があるのは小野地区の方だけとなり、小坂地区の方は口を挟む余地が無いような協議が多かった。基本的には小野地区の協議項目が多いので、委員の負担軽減も考慮して今回はやり方を変えた。

・このまま議論しても、全体の会議の場では、なかなか意見が出ない。

→学校名については、あらためて正副委員長と相談させていただき、代表者の方と別途機会を設けて協議することとしたい。

6 その他

【質疑／意見交換】

・小坂地区の「校友会」とはどのような組織なのか。

→昭和36年から、区長会の発案で組織された。小坂小学校の卒業生と、現在小坂地区に住んでいる人が会員。各地区から1戸あたり500円を徴収し、年1回広報を発行している。地元子ども達のために、学校で必要なものを援助したり、事業を手伝ったりしている。例えば、同窓会を開催する際に、5,000円の補助金を出したりしている。事務局は個人。

・小野小学校PTAの準会員の会費は、資料には500円と記載されているが、正しくは1,000円徴収している。

→資料を修正する。

・準備委員会で協議した内容を、地区民にどのように啓発、お知らせするのか。
→「準備委員会だより」という広報誌を発行して、全戸配布又は回覧の方法で協議内容をお知らせする予定。委員の方々も、地区の寄り合いなどで機会があれば情報提供をしていただけるとありがたい。

・区長会から選出される際に、この委員会は6回程度開催されるだろうと説明を受けたが、実際にどれくらい予定しているのか。

→他地域の例では、全体会を5回程度、その他個別の協議、例えば通学の件などを6回程度、PTAの協議も同じくらい実施している。部会を無くすなどやり方を変えることで、なるべく負担軽減を図りたいと考えている。

・個別の協議について、どのようなメンバーで協議されているかについても委員に共有してもらいたい。

→いつの間にか決まっていた、とならないよう、協議メンバーも含めて委員にお知らせするように工夫する。

※今後の予定は、配布資料にあるような調整事項について、学校名の件も含めて、関係する方に集まってもらい、協議を進めていく。

ある程度協議が進んだ段階で全体会を開催し、協議結果を報告・確認していただく予定。

7 閉 会（正木教育次長）